

2.2. 名古屋市の道路の現状

2.2.1. 名古屋市の道路

道路ネットワーク

本市の都市計画道路は、大正 13（1924）年に 40 路線、総延長約 146.3km が初めて計画決定されました。その後、第二次世界大戦の空襲により本市全域にわたって大きな被害を受けたことから、戦後の復興において幅員 100m の街路を含む 97 路線、総延長約 445.6km が計画決定され、今日の道路網の基礎となりました。その後も、周辺市町村の合併による市域の拡大に伴う道路網の追加決定や整理統合を経て、現在の道路網が形成されています。

本市内の自動車専用道路網は名古屋環状 2 号線と名古屋高速道路が一体となって名古屋都市圏の骨格を形成しています。令和 7（2025）年 3 月現在の都市計画道路網は幹線街路で 211 路線、延長約 822.3km となっています。本市の都市計画道路の整備率は約 95.4%（図 2.2.1）、道路率（市域面積に占める道路面積の割合）は約 18.6%（図 2.2.2）と政令指定都市の中で最も高い水準であり、豊かな道路基盤が整備されています。今後も財政状況などを踏まえながら、都市計画道路の整備を推進してまいります。

平日昼間 12 時間平均交通量を他の大都市と比較すると、本市より人口の多い東京都区部、横浜市、大阪市と同程度の交通量を負担している反面、混雑度は首都圏や関西圏の大都市と比較して余裕がある結果となっています（図 2.2.3）。本市の道路ネットワーク整備が進んだことも要因の一つであると言えます（図 2.2.4、図 2.2.5）。

道路資産は市民生活を支える重要な社会基盤である一方、老朽化対策が喫緊の課題となっています。このため、本市では予防保全型の維持管理を推進し、「名古屋市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画の策定により（図 2.2.6）、計画的なアセットマネジメント※5に取り組んでいます。

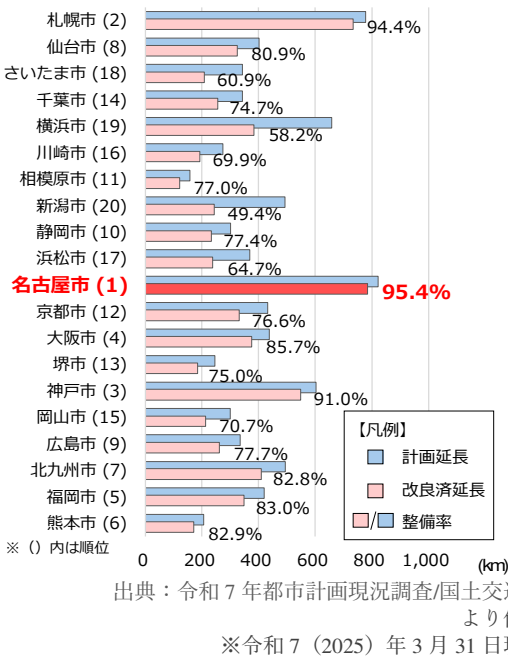


図2.2.1 都市計画道路・整備状況
(政令指定都市比較)

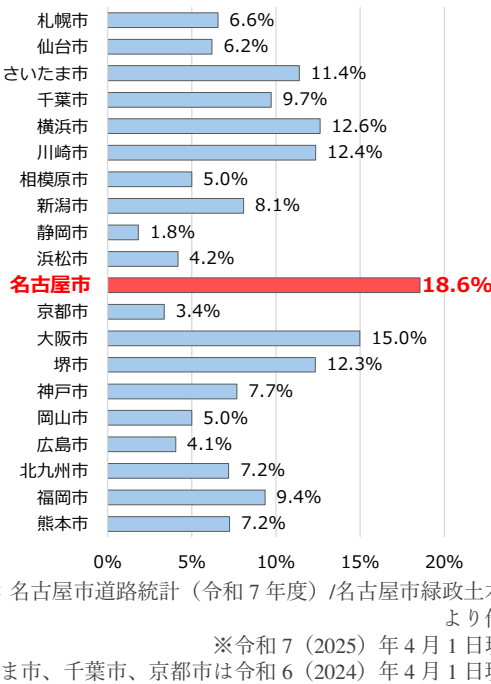


図2.2.2 道路率
(政令指定都市比較)

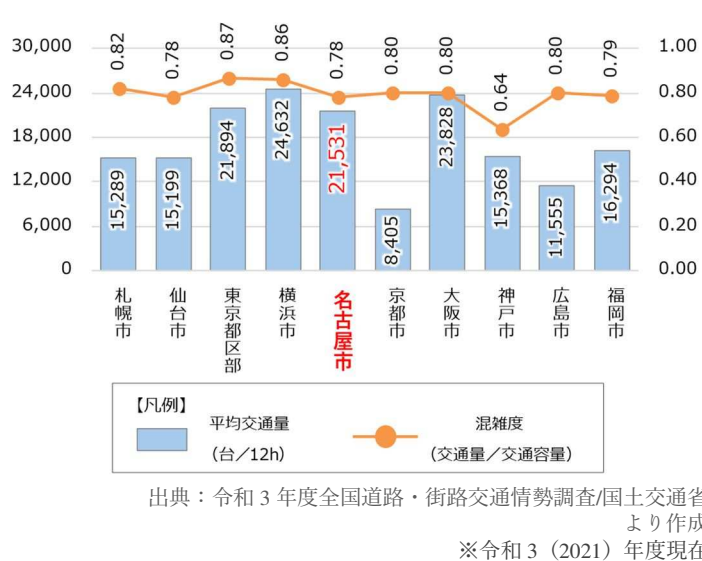


図2.2.3 平日昼間12時間平均交通量と混雑度
(主要都市比較)



図2.2.4 名古屋市の混雑度の推移

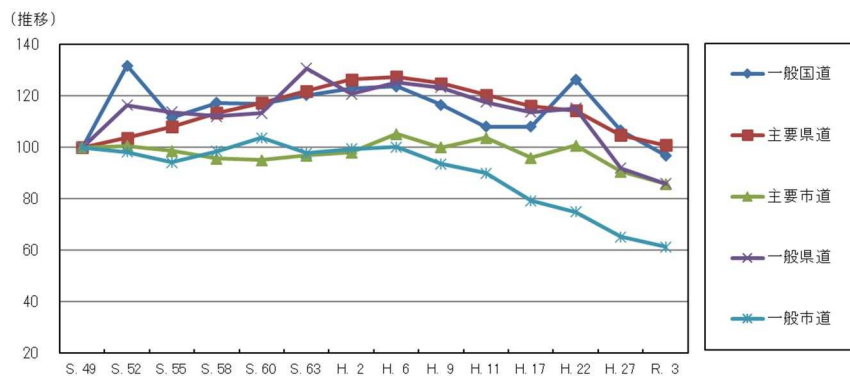
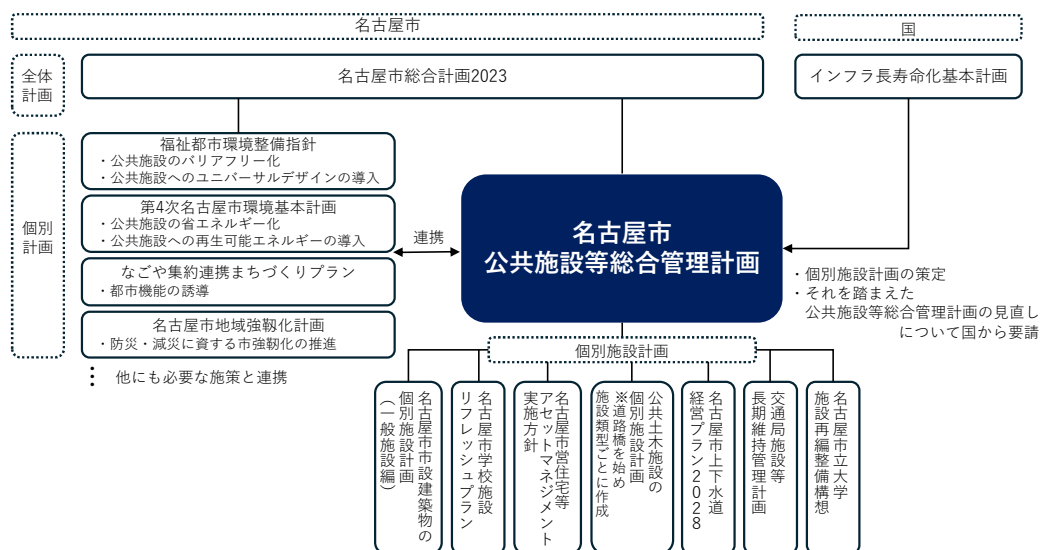


図2.2.5 名古屋市道路種別平日12時間平均交通量の推移



出典：名古屋市公共施設等総合管理計画(R4)/名古屋市財政局
 図2.2.6 名古屋市公共施設等総合管理計画体系